

## 第8節 皮膚科

### 神奈川県皮膚科医会

#### 1 神奈川県皮膚科医会の歩みと概況

##### (1) 発足後の経過

神奈川県皮膚科医会（神皮会と略）発足の経緯については、既に県医師会史の第2巻に要約したが、終戦直後の「神奈川県性病予防委員会」、昭和35年からの「神奈川県皮膚科懇談会」を経て、昭和41年7月以降は、神奈川医学会の分科会として改めて発足し今日に至っている〔詳細は県医師会報第237号52～79頁（昭和46年11月10日）、第386号76～79頁（昭和59年4月10日）、神皮会20周年記念誌（昭和61年11月）に掲載〕。

昭和61年7月には創立20周年記念総会並びに祝賀会を開催し、記念誌を発刊（上記）更に平成8年7月には創立30周年記念祝賀会を開催し、記念誌（会報「神皮」4号、平成9年3月）を発刊した。

##### (2) 例会並びに総会

例会は年3回（主に3月、7月、12月）、通常総会は7月の例会の時に、12月例会は神奈川医学会の分科会として開催し、例会の内容は、各例会の当番を交えて企画委員会で検討して、興味あるテーマと講師を選び、県内各地で開催している。更に例会は日医の生涯教育講座の参加、並びに日本皮膚科学会の専門医の受講（後実績）として認められている。昭和60年度第57回例会から平成11年度第102回例会までの開催年月日、開催会場、主要テーマを纏め別表に示す。

##### (3) 委員会等

昭和60年以前の神皮会の組織は幹事会（総会で会員から選出）と、常任幹事会（幹事の互選）の中に企画係、教育・集會係、医事係、庶務係、編集係（神奈川医学会雑誌担当）が設けられていた（県医師会史第2巻354頁）が、昭和58年からは企画係は企画委員会として前記の如く、当番幹事を交えて会員にとって有益で、興味深いテーマと講師選びを行っている。また、平成4年から広報委

員会を設け、会報「神皮」の編集、発刊を、更に、平成8年からは在宅医療検討委員会（在宅医療の勉強会を開催）、学校医検討委員会（県医の学校医部会に委員を送り、皮膚科専門学校医の実現を目指す）、産業医検討委員会（産業医をPR）等を立ちあげた。また、医事係は健保委員会として平成5年からは基金、国保の皮膚科審査員の連絡会を頻繁に開催し、診療報酬改定時に会員に対する説明会や、「健保委員会からのお知らせとお願い」の配布等を行っている。会員の増加と活動の現状に合わせて、会則の全面的改正を行うため、平成3年に会則改正検討委員会を設けて検討の結果、平成4年7月の総会で新会則を承認、同年12月の臨時総会で一部修正が行われた。

##### (4) 役員

平成4年から会則の改正に伴い、新たに副会長が設けられ、同時に会長中野政男の勇退に関連して役員の変動が行われた。平成4年度から平成11年度の正副会長、正副幹事長は下記の通りである。

	平成4～7年度	平成8～11年度
会長	加藤安彦	加藤安彦
副会長	廻神輝家	富澤尊儀
幹事長	富澤尊儀	原 紀道
副幹事長	苅谷英郎	杉本純一

##### (5) 会員数

会員名簿による会員数の推移は、昭和61年4月には会員365名、賛助会員62社、平成元年1月には会員369名、61社、平成2年8月には会員375名、59社、平成5年4月には会員389名、57社、平成8年3月には会員412名、59社、平成10年4月には会員421名、60社と順調に増加傾向を示している。また、昭和63年から会員のコンピューター管理システムが完成し稼働を始めた。

##### (6) 財政状況

神皮会の財源は、会員及び賛助会員の会費、県医からの分科会育成費、その他の雑収入で賄われており、毎年会計監査が行われ、例会等の費用の

一部は共催各社の協力で、比較的安定した財政状況のもとに運営されている。

(7) 皮膚科診療互助システムについて

会員の高齢化に伴い、予期せぬ病気の検査や治療等による休診を、会員同士が助け合い、診療を継続することによって、会員や家族に安心と、患者には医療の継続を保障しようとの考えを、平成10年に常任幹事会に提案、平成12年3月草案を幹事会に提出、同年5月20日より発足した。

## 2 県内地域皮膚科医の会

県内には横浜市、川崎、横須賀、三浦半島、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、平塚、小田原、丹沢、厚木、相模原等12の地域に皮膚科医の会が結成され(「神皮」7号、47頁)、それぞれ活発に活動している。

## 3 日本皮膚科学会(日皮と略)との関係

日皮の専門医制度に伴う認定学術集會に神皮会の例会が登録され(昭和61年)第63回例会(昭和63年7月)から後実績受講証交付を開始した。また、平成9年12月には、日皮認定専門医制度の改定案に対し、神皮会の見解と意見書を日皮専門医制度委員長宛てに提出した。

第86回日皮総会(会頭横浜市大永井隆吉教授、昭和62年)第52回日皮東京支部学術大会(会長北里大西山茂夫教授、昭和63年)第94回日皮総会(会頭東海大城戸宗男教授、平成7年)第59回日皮東京支部学術大会(会長東京通信病院戸田 浄副院長、平成8年)第61回日皮東京支部学術大会(会長横浜市大中嶋 弘教授、平成10年)等に賛助を行った。

## 4 日本臨床皮膚科医学会(日臨皮と略)との関係

日臨皮との関係については県医師会史第2巻に記述したが、神皮会が日臨皮の県支部の役割を果たし、日臨皮本部理事や支部(南関東山静)役員を選出しているほか、会長加藤安彦が昭和63年度から平成4年度までの間支部長を務めた。また、日臨皮総会・臨床学術大会を前会長中野政男が第3回(昭和62年)を、第11回(平成7年)は会長加藤安彦がそれぞれに会頭を務め、神皮会が全面

的に協力して盛会裡に終了した。第16回総会・臨床学術大会(東京支部担当、平成11年)には賛助を行った。更に、日臨皮主催の全国的な「皮膚の日」の行事を、県内では神皮会が主管して平成元年から、一般市民を対象とした講演会と皮膚病無料相談を、毎年横浜そごうデパートで開催している。

## 5 その他の学会との関係

神皮会の会員が会頭(会長)となって主催する学会賛助を行った(第37回医真菌学会総会、第4回及び第8回乾癬研究会、第68回日本らい学会総会、第14回皮膚悪性腫瘍学会、第17回皮膚リンフォーマ研究会、第25回日本電顕皮膚生物学会、第24回日本小児皮膚科学会総会等)

## 6 各年度別主要事業

昭和60年度

- (1) 例会並びに総会：3回(総会及び第57回例会、第58回、第59回例会)開催。
- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、創立20周年記念総会準備委員会1回を開催。
- (3) その他：子供の「とびひ」についてアンケート調査を行い、第57回例会で発表した。

昭和61年度

- (1) 例会並びに総会：3回(創立20周年総会及び第60回例会、第61回、第62回例会)開催。
- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会1回を開催。
- (3) その他：第60回例会では創立20周年記念総会、功労者表彰、並びに祝賀会を行い、20周年記念誌、会員名簿第9版を発刊した。日皮専門医制度発足に伴う学術集會として例会が認定登録された。

昭和62年度

- (1) 例会並びに総会：3回(総会及び第63回例会、第64回、第65回例会)開催。
- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会1回を開催。
- (3) その他：総会で役員の一部が改選された。日皮専門医制度後実績の受講証明を第63回例

会より交付を開始した。第86回日皮総会（会頭横浜市大永井隆吉教授）のシンポジウムに協力、賛助した。第3回日臨皮総会（会頭前会長中野政男）を主管した。健保改正速報を会員に配布した。

#### 昭和63年度

- (1) 例会並びに総会：3回（総会及び第66回例会、第67回、第68回例会）開催。
- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会1回を開催。
- (3) その他：コンピューター会員管理システムが完成し稼働、会員名簿第10版を発売、第52回日皮東京支部学術大会（会長北里大西山茂夫教授）及び横浜市皮膚科医会20周年記念例会・祝賀会に賛助した。

#### 平成元年度

- (1) 例会並びに総会：3回（総会及び第69回例会、第70回、第71回例会）開催。
- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会1回を開催。
- (3) 第1回「皮膚の日」の講演会、皮膚病無料相談会を開催、第4回乾癬研究会（会頭東海大城戸宗男教授）に賛助した。

#### 平成2年度

- (1) 例会並びに総会：4回（総会及び第72回例会、第73回（臨時）、第74回、第75回例会）開催。
- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回を開催。
- (3) 会員名簿第11版を発売、第2回「皮膚の日」を開催。アンブロワーズ・パレ400年祭に賛助した。

#### 平成3年度

- (1) 例会並びに総会：3回（総会及び第76回例会、第77回、第78回例会）開催。
- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会4回、会則改定検討委員会1回、役員会議2回を開催。
- (3) その他：第3回「皮膚の日」を開催、中野政男前会長が県医学功労賞を受賞した。

#### 平成4年度

- (1) 例会並びに総会：3回（総会及び第79回例

会、臨時総会及び第80回記念例会、第81回例会）開催。

- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会3回、広報委員会1回、会則改定検討委員会2回、役員交代会1回を開催。
- (3) その他：第79回例会時の総会で会則の全面的改正を行った。第80回記念例会時の臨時総会では会長以下一部役員が交代し、新会則の一部を修正した。第4回「皮膚の日」を開催した。

#### 平成5年度

- (1) 例会並びに総会：3回（総会及び第82回例会、第83回、第84回例会）開催。
- (2) 委員会等：幹事会4回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会3回、広報委員会2回を開催。
- (3) その他：会報「神皮」創刊号発売、会員名簿第12版発売、第5回「皮膚の日」開催、第37回日本医真菌学会総会（会頭横浜市大中嶋弘教授）第8回乾癬研究会（会頭北里大西山茂夫教授）に賛助した。

#### 平成6年度

- (1) 例会並びに総会：3回（総会及び第85回例会、第86回、第87回例会）開催。
- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会3回、広報委員会3回を開催。
- (3) その他：会報「神皮」2号発売、第6回「皮膚の日」を開催した。阪神・淡路大震災に際して兵庫県皮膚科医会に対して災害見舞金を贈った。

#### 平成7年度

- (1) 例会並びに総会：3回（総会及び第88回例会、第89回、第90回例会）開催。
- (2) 委員会等：幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会2回、広報委員会3回、役員会議1回、新役員選考委員会1回を開催。
- (3) その他：会員名簿第13版発売、第7回「皮膚の日」開催、第11回日臨皮総会（会頭会長加藤安彦）を主管し賛助、第94回日皮総会（会

頭東海大大城戸宗男教授)第68回日本らい学会総会(会頭横浜市大中嶋 弘教授)を賛助した。

平成8年度

- (1)例会並びに総会:3回(創立30周年総会及び第91回例会、第92回、第93回例会)開催。
- (2)委員会等:幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会4回、広報委員会1回、在宅医療検討委員会2回、30周年記念実行委員会を開催。
- (3)その他:総会で副会長、幹事長以下役員の一部が交代、第91回例会には創立30周年記念祝賀会を開催、会報「神皮」4号を発刊、会員に対して、在宅医療及び学校医に関するアンケート調査を実施した。第1回在宅医療勉強会(皮膚科往診の現況と今後の取り組み方)を開催、県医学校医部会に神皮会より委員を選出、第8回「皮膚の日」を開催した。第59回日皮東京地方会学術大会及び世界の皮膚科シンポジウム(会長東京逋信病院戸田 浄副院長)を賛助した。

平成9年度

- (1)例会並びに総会:3回(総会及び第94回例会、第95回、第96回例会)開催。
- (2)委員会等:幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会4回、広報委員会4回、学校保健検討委員会1回を開催。
- (3)その他:会報「神皮」5号を発刊、第9回「皮膚の日」を開催。日皮専門医制度改定案に対する神皮会の意見書を提出した。「学校医・学校歯科医・学校薬剤師執務必携」改訂版及び、養護教諭・体育教諭向けガイドブック「保健室での各科別応急処置マニュアル」の改定版に分担執筆した。健保改正の説明会を行った。第2回在宅医療勉強会(在宅医療の問題点)を開催した。第61回日皮東京地方会学術大会(会長横浜市大中嶋 弘教授)に賛助した。

平成10年度

- (1)例会並びに総会:3回(総会及び第97回例会、第98回、第99回例会)開催。
- (2)委員会等:幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会3回、広報委員会

4回を開催。

- (3)その他:会員名簿第14版発刊、会報「神皮」6号を発刊、第10回「皮膚の日」を開催、皮膚科領域学術講演会を開催250名が参加、第3回在宅医療勉強会(疥癬)、「健保委員会からのお知らせとお願い、その1」を会員に配布した。第14回皮膚悪性腫瘍学会、第17回皮膚リンフォーマ研究会(ともに会頭横浜市大中嶋 弘教授)、第25回日本電顕皮膚生物学会(会頭関東中央病院日野治子部長)等に賛助した。

平成11年度

- (1)例会並びに総会:3回(総会及び第100回記念例会、第101回、第102回例会)開催。
- (2)委員会等:幹事会3回、常任幹事会3回、会計監査1回、企画委員会3回、広報委員会3回、新幹事選出作業部会2回を開催。
- (3)その他:会報「神皮」7号を発刊、第4回在宅医療勉強会(在宅における皮膚科診療の実際、在宅医療簡易点数表の配布)健保改正説明会開催、「健保委員会からのお知らせとお願いとお知らせ、その2」を配布、産業医検討委員会から産業医への道をアピール、第11回「皮膚の日」を開催した(参加市民90名、皮膚病相談者60名)。神皮会会員診療互助システム(案)を提案した。会員に軟膏、軟膏療法の現況についてアンケート調査を行い第102回例会で発表した。

## 7 あとがき

神皮会は平成12年7月に創立34周年を迎えたが、卒後研修を主体とした例会のほか、健保問題、在宅医療、学校医、産業医問題にもいち早く取り組み、地域の皮膚科医の会として、会員数、纏まりの良さ、活動状況等、内容、規模とも全国的に皮膚科専門医の高い評価を得ている。

しかしながら、わが国の医療保険体制の財政悪化は深刻で、今後も各制度の構造改革が、財政主導の緊縮型で推移する限り、皮膚科診療所の立場は極めて厳しい状況にあると予測される。皮膚科診療に情熱を持ち、生き残るためには、皮膚科医として高度の専門的知識と技術を身につけることは勿論、同時に他の分野の幅広い知識も合わせ持

ちながら、診療所の中に止まらず、積極的に地域医療活動に参画する努力が必要で、会員の研修と

情報交換の場としての神皮会の役割は、今後とも益々重要と思われる。(加藤 彦彦)



第100回記念例会 平成11年7月4日(於:新横浜プリンスホテル)

神奈川県皮膚科医会 例会年表

昭和60年(1985)4月~平成12年(2000)3月[15年間]

例会	年月日	開催会場	メインテーマ
57	S 60. 7. 7	藤沢メディカルセンター	・夏の子供のとびひ、悪性リンパ腫、健保質疑応答、定例総会
58	S 60.12. 7	鎌倉商工会議所	・慢性皮膚疾患に対する療養指導の実際劇(アトピー性皮膚炎、慢性湿疹、尋常性乾癬)
59	S 61. 2. 23	神奈川県医師会館	・デルマドローム(皮膚と全身、内臓疾患と多形紅斑様皮疹、内臓悪性腫瘍と皮膚病変)
60	S 61. 7. 12	ホリデイ・イン横浜	・デルマドローム(皮膚と眼、皮膚と神経) 健保改正に伴う留意事項、20周年記念総会、祝賀会
61	S 61.12. 7	横浜高島屋	・デルマドローム(内分泌と皮膚) 小児アトピー性皮膚炎と I g E・食物
62	S 62. 2. 14	ホテル セントラーザ	・デルマドローム(内分泌(糖尿病を除く)と皮膚) 光線と皮膚
63	S 62. 7. 12	横浜市社会福祉センター	・デルマドローム(代謝性疾患と皮膚) 汗と皮膚、定例総会
64	S 62.12. 5	茅ヶ崎・エビックス	・学校保健と皮膚科医の役割、転移性皮膚癌、最近の寄生虫性疾患特に皮膚科領域における寄生虫症
65	S 63. 2. 14	横浜市社会福祉センター	・皮膚科領域におけるモノクローナル抗体の臨床的応用、風疹の臨床、ステロイド外用療法の問題点
66	S 63. 7. 9	新横浜国際ホテル	・最近の再審査状況、掌蹠膿疱症に対するセルテクトの臨床効果と副作用、iching purpura、膿疱症、定例総会
67	S 63.12. 4	伊勢原市民文化会館	・痒疹、pitted Keratolysis, Arachnia propionica による頸部放線菌症、老人性皮膚疾患の治療、臨時総会
68	H 元. 2. 25	ホテル サンポート	・ハワイの癩、虫刺されや帯状疱疹の痛み、皮膚の痛みの生理学
69	H 元. 7. 16	ホテル ニューグランド	・光と皮膚(光と生命、光線過敏症、紫外線と皮膚) 定例総会
70	H 元.12. 2	インターナショナル ブラザホテル	・成人型アトピー性皮膚炎における細菌の役割、symmetrical lividities of the soles of the feet, Malassezia感染症、再審査状況
71	H 2. 2. 25	鎌倉商工会議所	・皮膚真菌性、ステロイド外用とセルテクト併用比較、形の見方(みて同じものは同じか、みて違うものは違うか) 記載皮膚科学とはなにか
72	H 2. 7. 7	インターナショナル ブラザホテル	・SSSSの発症機序、家屋内のダニ、南アフリカで感染した紅斑熱、日本紅斑熱、定例総会

第3章 神奈川県医学会及び分科会

例会	年月日	開催会場	メインテーマ
73	H 2 . 8 . 4	ホテル リッチ横浜	・(臨時例会)医史学への招待、パリの思い出、横浜医史雑話、皮膚科の医史学
74	H 2 . 12 . 2	茅ヶ崎市民文化会館	・Necrobiotic xanthogranuloma with paraproteinemia、歯科金属とP.P.P.、皮膚真菌症診断と治療、角化と角化の異常
75	H 3 . 2 . 23	横浜市市民文化会館 関内ホール	・アトピー性皮膚炎私見、食餌制限療法、臨床症状と検査値
76	H 3 . 7 . 7	ホテル リッチ横浜	・人体と金属との係わり、金属アレルギー(一般金属、HgとAuの交叉反応、口腔内歯科金属、口腔内電流と扁平苔癬、歯科金属疹、刺青の金属アレルギー) 定例総会
77	H 3 . 12 . 7	藤沢グランドホテル	・臨床検査所、E I A、R I A、I g E R A S T法の実際と問題点、DNA、プローブ法、梅毒診断法の歴史と新法
78	H 4 . 2 . 23	パシフィコ横浜 会議センター	・イカ精英による口腔内刺傷、海水浴皮膚炎、クラゲ皮膚炎、サンゴ皮膚炎、Mycobacterium marinum 感染症、皮膚に傷害を与える水棲動物
79	H 4 . 7 . 5	関内新井ホール	・皮膚とサイトカイン、Bechcet 病とSweet 病、定例総会
80	H 4 . 12 . 6	関内新井ホール	・臨時総会、神奈川県皮膚科医学会の歩み、創生記エピソード、宇宙と皮膚、地球と肌;雪と水、80回例会記念パーティー
81	H 5 . 3 . 6	横浜シンポジア	・食品香料、皮膚の香りと化粧品の香り
82	H 5 . 7 . 4	関内新井ホール	・活性酸素、表皮過酸化脂質とその防御、活性酸素と皮膚障害、通常総会
83	H 5 . 12 . 4	厚木フタムラホール	・レーザー治療の現況(外科、形成外科、皮膚科)
84	H 6 . 3 . 6	関内新井ホール	・ニキビの悪化要因(ホルモン、脂肪酸)、性ホルモンがヒト表皮細胞増殖に及ぼす影響、細菌と皮膚、ニキビの治療
85	H 6 . 7 . 10	関内新井ホール	・エイズ(皮膚科からみた臨床、神奈川県下の現状)通常総会
86	H 6 . 12 . 3	パシフィコ横浜 会議センター	・女性と化粧、化粧の実演、化粧品の種類、薬事法と化粧品、化粧品の開発の現況
87	H 7 . 3 . 5	鎌倉市中央公民館	・皮膚症状と心、皮膚と感覚、皮膚と脳
88	H 7 . 6 . 24	横浜市民文化会館 関内ホール	・医療と税制(消費税の皮膚科診療に与える影響)、皮膚科診療と経営、通常総会 第11回日本臨床皮膚科医学会総会・臨床学術大会と共催
89	H 7 . 12 . 3	関内新井ホール	・毛(ミクロの世界)脱毛症(多彩な臨床像)、毛(その一生)、円形脱毛症(病態と治療の最前線)
90	H 8 . 3 . 2	横須賀プリンスホテル	・膠原病(シュエーグレン症候群、S L E、皮膚科医からみた膠原病)
91	H 8 . 7 . 7	関内新井ホール	・梅毒血清反応の過去と今後の展開、T E Nをめぐると最近の話題、通常総会、創立30周年祝賀会
92	H 8 . 12 . 7	神奈川中小企業センター	・乾癬(感受性遺伝子、最近の話題、治療法)
93	H 9 . 3 . 2	茅ヶ崎市民文化会館	・アトピー性皮膚炎の治療(海水浴、紫外線療法)、健保Q & A
94	H 9 . 7 . 6	新横浜プリンスホテル	・アトピー性皮膚炎の治療(アレルギー炎症における活性酸素とステロイド、脱ステロイド療法、ステロイド外用剤)通常総会
95	H 9 . 12 . 6	クリスタルホテル藤沢	・在宅医療(介護保険下における在宅医療、褥瘡治療、)藤沢における訪問看護制度、健保Q & A
96	H 10 . 3 . 1	関内新井ホール	・高齢社会と皮膚科(高齢者皮膚疾患診療、老人医療の現況と未来)、健保Q & A
97	H 10 . 7 . 5	バンパシフィック ホテル横浜	・皮膚科外来に於ける外科的処置(アンケート解析)、私の工夫(粉瘤切除、陥入爪処置)、患者を送られる立場から、健保Q & A、通常総会
98	H 10 . 12 . 6	厚木ロイヤルパーク ホテル	・白い皮膚 - その疾病と美白(色素沈着、美白剤、しみとりレーザー、脱色素性疾患、) 健保Q & A
99	H 11 . 3 . 7	インターナショナル プラザホテル	・S T D (性感染症の今日の動向、H I V感染(皮膚症状、真菌性))、パイアグラ、健保Q & A
100	H 11 . 7 . 4	新横浜プリンスホテル	・第100回記念例会、記念講話(渦状癬、椿によせて)、記念講演(超システムとしての人間) 記念音楽会(音楽を楽しむ)、健保Q & A、祝賀会
101	H 11 . 12 . 5	小田急ホテル センチュア相模大野	・ストレスとかゆみ(皮膚の生理学的変化、かゆみと皮膚、Hypersensitivity syndrome、健保Q & A
102	H 12 . 3 . 5	ホテル リッチ横浜	・軟膏基剤と軟膏療法(アンケート集計結果、軟膏基剤の特性とP L法、外用療法あれこれ) 免疫電顕、産業医への道、健保Q & A